

議員定数に関する意見 取りまとめ結果

議員定数変更の 必要性の有無	意見等
有	<p>議員定数を増やすべきと考える。 3常任委員会×9人の構成で、27人とする。 (議場の座席数の関係で、28人が最大と考えるが、委員会の数で割り切れる方が良いと思うので、27人とした。)</p> <p>現在の議員定数、20人としているが、議会の活性化や女性が議員になりやすい環境を作っていく上でも、門戸を広げるべきだと考える。市議会の議論の多様化を図るために、定数を増やす。議員報酬は、現在の7割程度に引き下げ(定数が増えた分が、27分の20で約74%、残りの4%分)、政務活動費を増額する。町村議員にも優れた活動をされる議員はいる(と思う)、報酬の多い少ないが議員の質と比例関係には無いと考える。活動費用を援助することから言えば、政務活動費の増額が良い。本来は、議員報酬も維持されて良いと考えるが、定数増のためには報酬減を示さなければ、住民の理解が得にくいと考えるため、報酬減額を合わせて提案する。また、報酬減で男性が出ようとする意識を低下させることができる可能性があり、女性議員増加に寄与するかもしれない。</p>
有	<p>世論におされ、幾度となく定数の削減をしてきた。そこで、現状の定数による問題点を記す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会運営に無理が生じている。 ・少人数での議論となり、多様な意見を反映できない。 ・議会内の運営負荷が大きい。または一部の議員に偏る。 ・経験値に応じた役割になりづらい。 <p>「減らす」議論が先行しがちだが、「増やす」議論も必要である。また、議会に専念し専門化できるように、報酬とあわせての議論が必要である。一部の人の議会ではなく、多くの人に関わり、発言できる議会にする必要があると考える。従って、「増やす」議論は行うべきである。</p>
有	<p>現在2名少ない状態で、問題なく議会が進行しているから。 定数を2名削減し、 更に、コロナ禍が続き、市民の経済状況が低迷していることを反映する為、 全議員の報酬を1割削減する。</p>
有	<p>前回の議員定数削減の市民の声は、議員2名が辞職され、定数21名のところを19名で議会運営を行って問題がなかったのに削減をしなければおかしいという声が上がって定数削減に至ったと思っています。今回も定数20名のところを18名で議会運営を行っています。議員の負担が大きくなっているか分かりませんが、市民には問題ありません。また、議員の定数が削減されると「市民の声が届かなくなる」という声も聴きますが、市民の方々も日々の生活を頑張っておられます。我々市議会議員も現在18名で議会運営が出来ている現状を踏まえ、一人一人が今以上の働きをすれば市民にとって18名で問題はないと考えます。</p>
有	<p>一概に減らせばよいという問題ではないが、実質、昨年度より2名減で運営されてきた事実が存在している。その運営において議会機能が低下し、その責務や市民生活に対し影響を与えたかの検証は必要だ。 議員数の根拠は数値(人口、行政面積、近隣市対比等)のあてはめではなく、自治体運営の安定と成長に寄与できる其々自治体状況下における必要最低限数が理想である。 人数が多くても本来の存在意義である行政チェック機能が正常稼働せず、市民要望や市民生活の現状把握を基軸とした偏りのない政策対応ができなければ行政コストとして無駄といえる。 そして、コストばかりに拘るべきではないが、今日の社会情勢、市民感情に配慮したとき市民代表としてローコストハイリターンを目指すべきと考える。 今回の設問は議員の定数に絞り込まれているが、定数を考える論点にはコスト並びに価値感が存在しており、議員報酬も大きくリンクしていると考え。 18議席で運営された実績を自ら否定するべきではないと考える。</p>

議員定数変更の 必要性の有無	意見等
無	<p>今の議員定数20名、現在18名ということで、現段階でもギリギリの定員だと思います。 委員会等で、もう少し中身の濃い意見を出し合おうとすると少しでも多くの声を聞く必要もあると思います。また政策提言等をもっと議論していこうと思うと、今の議員定数は必要ではないかとも思います。 前回の改選にて多くの新人議員が増えた場合の事を考えたら(定数20人に対して7人の新人)あまり定数を減らすことは、賢明ではないと思います。</p>
無	<p>議員定数削減により議会の監視機能が低下し、多様な住民意思の反映を狭めてしまうことが懸念される。現在は定数20名のところ、18名の状況であり、議員定数削減により経費削減はできるが、その分質疑、質問も減少し、市民の代表として多様な意見を持つ市民の声を市政に届ける絶好の機会である一般質問も3日間の機会を頂いているのにも拘らず、2日間で終了してしまうという残念な状況もある。 将来的に本市の人口減少の傾向が顕著に表れてきた時には、議員定数削減を検討すべきと思うが、議会は地方公共団体の意思決定機関であり、議員定数を減らす議論よりも、むしろ議員の質をいかにして高め、民意の反映をどうするか議論の方が現時点では大切であると考え。</p>

議員定数に関する意見 取りまとめ結果

議員定数変更の 必要性の有無	意見等
無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 21名から20名に削減した後の総括が行われていない ・ 任期が始まってすぐに2名が辞職。現状の議員定数では不測の事態に対応できない ・ 議会全体を考えたとき少ない議員定数では、二元代表制を維持することが可能か疑問 <p>国会議員、県議会議員、基礎自治体議員は、それぞれの事情や機能が異なる。議員定数については、これら混同した論議ではなく、基礎自治体議会としての機能、役割、各議員の負担、リスク管理を踏まえたうえで慎重に判断する必要がある。</p>
無	<p>現状議員定数20名で良い。 今期より定数1減したばかりであり、これ以上定数を減らす必要はないと考える。なぜ減らす必要性があったかも疑問視している。 今期は、新人議員7名を含め昨年5月より18名の議員で現在まで議会運営をされてきた、議員の人数が減るほど、尾張旭市議会では一人にかかる負担が増えたことも事実である。</p> <p>議員定数を減らすことは議会改革を進めることにならず、全議員が向上心を持ち、日々勉学に励み、市民の付託に応えるだけの議員として信頼されるとことが大事である。</p> <p>市民に議員の定数を聞くと、ほとんどは「減らせ」と言う。現在の議会のことを市民が大半である。議会を少しでも理解している市民の声には、議員を増やし、多くの議員が市民の声を聞く必要があるとの声もある。</p> <p>今後、尾張旭市の人口が極端に減少が進めば、議会としての議論を深める必要がある。</p>
無	<p>近年は議会基本条例の制定によって、議会として求められる役割が、変化してきている。 これまで、行政のチェック監査機能が中心だったが、新しい時代に求められる市政や市民の要請に対応していくためには、市民との日頃の密着度の高く、また多種多様な人生経験のある議員・議会側からの政策提案が求められるようになった。 行政側は、政策立案や条例制定する際、600名近い職員やスタッフが市長を支えてくれる。しかし議会側は議会事務局の職員は数名。議員に多くの負担がのしかかってくる。 政策提案作業は、今後委員会が担うケースが出てくるが、3常任委員会で7名くらいは必要と考える（21名）。 したがって、増員は難しいため現況の20名が適当と考える。</p>
無	<p>昨年度から、予期せぬ事態により20名定員のところ18名の議員で議会運営を進めてきました。議員数が2名減のために、議会運営上、いろいろところで支障が出てきたと思われます。 従って、議員定数は、変更しない方が良いと考えます。</p>
無	<p>議会運営委員会において「議員定数について」の検討を行うことの発端が、20名定数のところ現状18名で進んでいることから20名ではなく18名で良いのではないかと議論の流れであるならば、そんなことはないと思います。 現状2名減の18人では、議論の深さや多様性は失われつつあるのではないかと感じるところもあり、この先、尾張旭市をより良いまちにしていけるために二元代表制の議会の力を発揮するならば戦力は十分確保した方が良いと思います。</p>
無	<p>議員定数の削減は、予算が出せないような状況でない限り削減の方向にすべきでないとする。 もし、市民に議員定数削減が必要だと言われるのであれば、不徳の致すところ、更なる資質向上と、発信力の強化が必要だと考える。 議員が議員定数の削減が必要であると発信することは、スタンドプレーかその存在意義を自ら否定するものであり、市民の代表者としての資質を問われてしかるべきだと考える。</p>
無	<p>議員定数変更の必要性については、「無」と記載したが、「有・無」を判断するには抵抗がある。 大前提として、定数削減を前提とした検討とするならば、定数変更の必要性はない。 私としては、定数を少なくとも21名に戻すべき（増加ではない）と考えるので、その視点ならば、定数変更の検討ありと考える。 ただ、現状は本来あるべき議員数20名が18名になっており、まずは、原状復帰が大切であり、まだ20名で本来の議会を担っていない。 今の段階で定数変更を課題にとするのはいかがなものか？ よって、これらの総合的判断として、定数変更の検討の必要性なしと考える。</p>
無	<p>議員定数は20名と考えております。現在2名欠員が発生しております。 以上。</p>
無	<p>まず、議員の数を減らすことが議会改革ではない。現在、尾張旭市の人口は、ほぼ横ばいであり、そうした状況において、より多くの様々な立場の市民の声を反映するためには、議員の数を減らすべきではない。今後、人口減少など環境変化が見られた時に、検討すべきである。</p>
無	
無	<p>定数20名で、始めたばかりなのに、1年足らずで18名になってしまっている。 実際、18名で議会が運営されておりますが、私としては20名が良いのか、18名が良いのか、定数を上げるという考えはないが、まだ整理がつかない。 定数変更の議論は、まだ時間が必要だと考える。</p>